

### 第一次大戦前夜の国際関係

☆独の3B政策：トルコに<sup>1</sup> \_\_\_\_\_ 鉄道を建設(98-)、大海軍を建造(00-)。

04-05 日露戦争：朝鮮進出を封じられた露はバルカン半島に転じ、独との対立が再燃。

04 英仏協商：英の<sup>2</sup> \_\_\_\_\_ 支配権と、仏の<sup>3</sup> \_\_\_\_\_ 支配権を相互承認。

07 英露協商：英の<sup>4</sup> \_\_\_\_\_ 支配権と、英・露による<sup>5</sup> \_\_\_\_\_ の分割。

⇨英の秘密外交による対独包囲網（三国協商）の完成。

☆モロッコ事件：仏のモロッコ侵入に独が抗議。独・仏開戦の危機。

05 独皇帝ヴィルヘルム2世の<sup>6</sup> \_\_\_\_\_ 上陸（第1次モロッコ事件）。

06 <sup>7</sup> \_\_\_\_\_ 会議：英・仏の結束で独は譲歩。モロッコは仏・西の勢力圏に。

11 独軍艦の<sup>8</sup> \_\_\_\_\_ 入港（第2次モロッコ事件）。独は結局、譲歩。

☆バルカン危機：<sup>9</sup> \_\_\_\_\_ 革命(08)の混乱で“ヨーロッパの火薬庫”となる。

<sup>12</sup> \_\_\_\_\_ 主義：独・墺の主張。

<sup>10</sup> \_\_\_\_\_ 主義：露の主張。

08 墺が<sup>13</sup> \_\_\_\_\_ 併合。

08 <sup>11</sup> \_\_\_\_\_ 独立宣言：露の支持。

11 伊土戦争：オスマン帝国敗北。

<sup>14</sup> \_\_\_\_\_ の対墺感情が悪化。

⇨伊がリビア（<sup>15</sup> \_\_\_\_\_ ）を併合。（⇨仏・伊関係が好転）注1

12 アルバニア独立宣言：墺が支持。

12- バルカン同盟：反墺・反オスマン同盟。

⇨アルバニア人の反セルビア感情を利用。

: <sup>16</sup> \_\_\_\_\_ の4国。

12 第1次バルカン戦争：<sup>17</sup> \_\_\_\_\_ がバルカン同盟に大敗、欧州領土を失う。

⇨占領地マケドニアの領有をめぐる同盟各国が対立。

13 第2次バルカン戦争：<sup>11</sup> \_\_\_\_\_ が各国に包囲され、領土を奪われる。

⇨敗れた<sup>17</sup> \_\_\_\_\_ ・<sup>11</sup> \_\_\_\_\_ は独・墺に接近。大戦では同盟国側につく。

☆国際反戦運動：世界大戦を回避する最後の試み。

①<sup>18</sup> \_\_\_\_\_ 会議

: 露皇帝<sup>19</sup> \_\_\_\_\_ の提唱で開催(99.07)。

⇨国際仲裁裁判所の設置(01)。軍縮には、独が反対。

⇨戦時国際法(ハーグ陸戦法規)の整備。

②作家・文化人の運動：人道主義に基づく反戦思想。

⇨トルストイ、<sup>20</sup> \_\_\_\_\_ らの訴え。

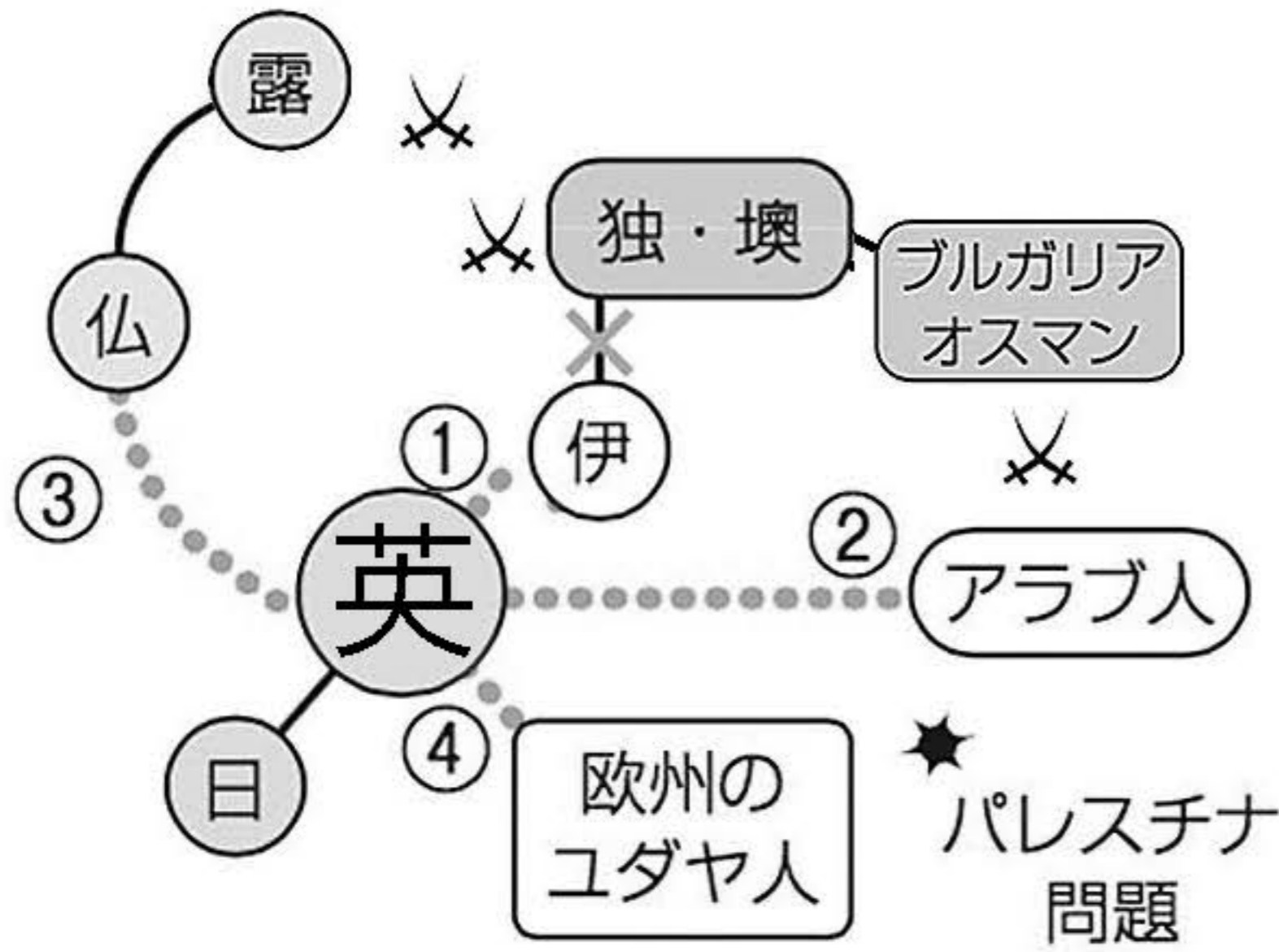
③<sup>21</sup> \_\_\_\_\_ の反戦決議(12 バーゼル大会)

⇨開戦後、階級闘争を停止(城内平和)、戦争に協力。



注1 リビアを得たイタリアは、仏からのチュニジア奪回を断念した。仏伊関係の好転は、イタリアの協商側への接近につながった。

# 第一次世界大戦 ① 1914-17



バルカン戦争から第一次世界大戦までの経緯について、以下の語句を用いて120字以内で説明しなさい。  
ブルガリア ポスニア



▲ 西部戦線の塹壕



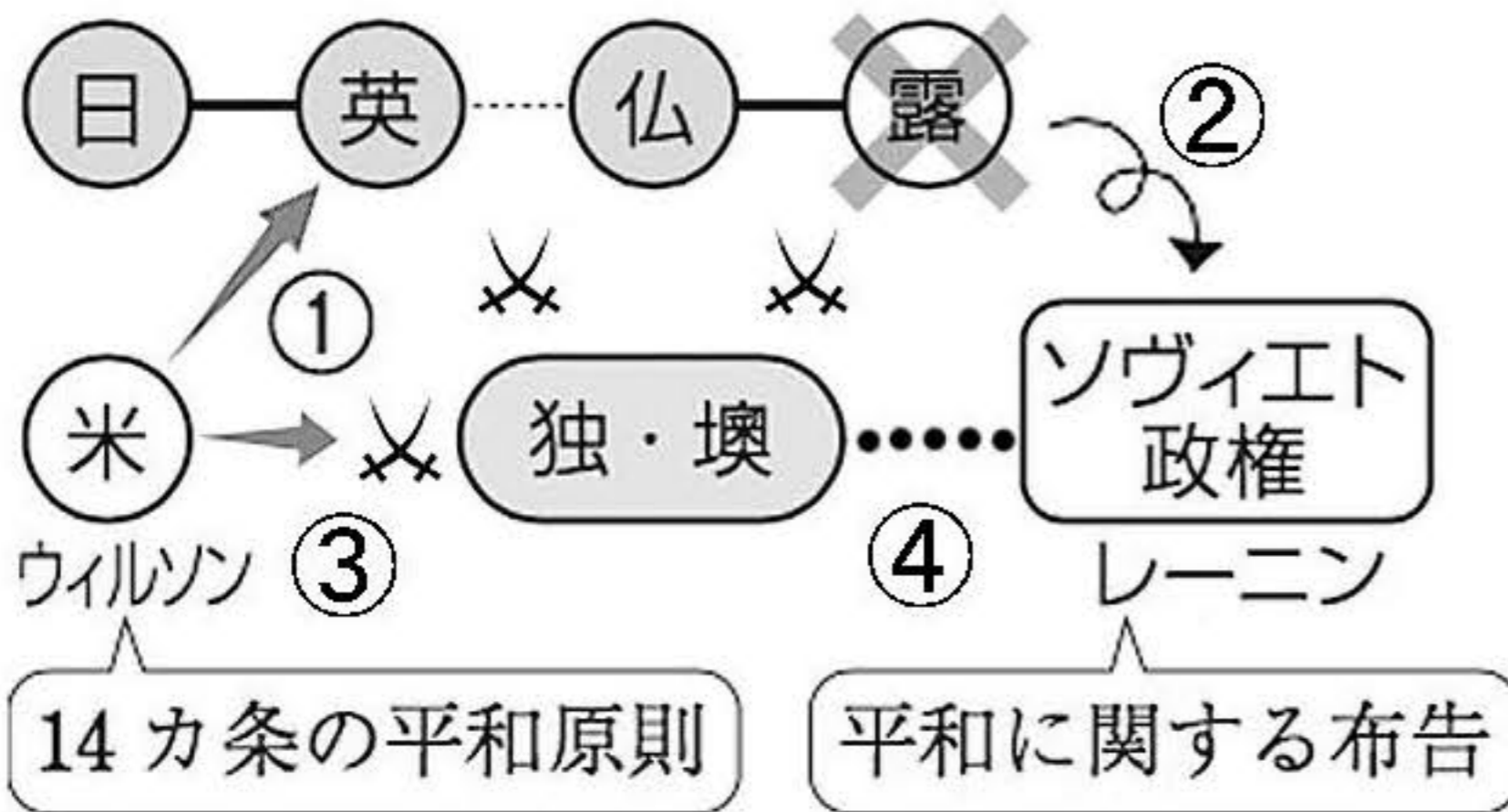
▲ ルシタニア号の撃沈

- ① ロンドン秘密条約(1915)
- ② \_\_\_\_\_ 協定(1915)
- ③ \_\_\_\_\_ 協定(1916)
- ④ \_\_\_\_\_ 宣言(1917)

- (解答) ② フサイン・マクマホン  
③ サイクス・ピコ  
④ バルフォア

第一次世界大戦中の英の秘密外交について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。  
トリエステ アラブ サイクス

# 第一次世界大戦 ② 1917-18



- ① 連合国に軍需物資を輸出。  
⇒ \_\_\_\_\_ を引き受け
- ② \_\_\_\_\_ (1917. 3月～11月)
- ③ 米国の参戦(1917. 4月)
- ④ \_\_\_\_\_ 条約(1918. 3月)

- (解答) ① 戦債 ② ロシア革命  
④ ブレスト=リトフスク

第一次世界大戦に対する米国の方針の変化について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。  
モンロー主義 戦債 潜水艦

## 第一次大戦前夜

- 1 バグダード
- 2 エジプト
- 3 モロッコ
- 4 アフガニスタン
- 5 イラン
- 6 タンジール
- 7 アルヘシラス
- 8 アガディール
- 9 青年トルコ
- 10 パン=スラヴ
- 11 ブルガリア
- 12 パン=ゲルマン
- 13 ボスニア
- ・ヘルツェゴヴィナ

- 14 セルビア
- 15 トリポリ・キレナイカ
- 16 セルビア
- ・モンテネグロ
- ・ブルガリア
- ・ギリシア
- 17 オスマン帝国 (トルコ)
- 18 ハーグ万国平和
- 19 ニコライ2世
- 20 ロマン=ロラン
- 21 第2インターナショナル

## 第一次世界大戦

- 1 サライエヴォ (サラエボ)
- 2 セルビア
- 3 ベルギー
- 4 英・日
- 5 タンネンベルク
- 6 マルヌ
- 7 露・仏・英・日
- 8 独・奥・トルコ
- ・ブルガリア
- 9 イタリア
- 10 フサイン・マクマホン (フサイン・マクマホン)
- 11 アラブ

- 12 サイクス・ピコ
- 13 バルフォア
- 14 ユダヤ 15 インド
- 16 ルシタニア
- 17 ヴェルダン
- 18 ソンム
- 19 無併合・無賠償
- ・民族自決
- 20 ブレスト=リトフスク
- 21 アメリカ
- 22 無制限潜水艦
- 23 ウィルソン
- 24 14カ条
- 25 秘密外交
- 26 海洋 27 関税
- 28 キール軍港

## 第一次世界大戦

### ①戦争の拡大。

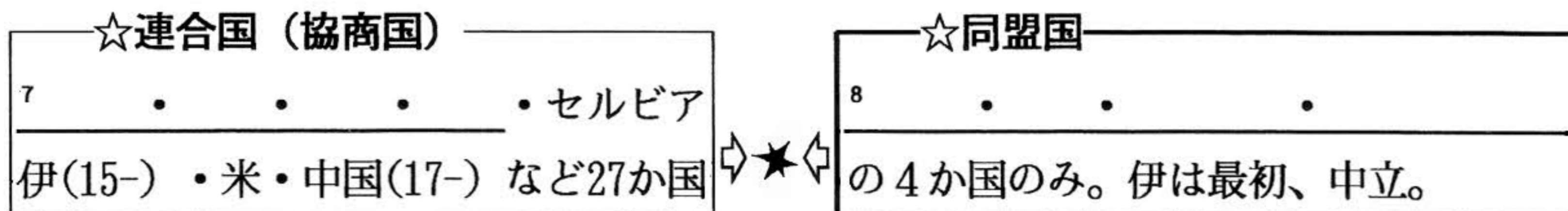
1914. 6. 28 <sup>1</sup> \_\_\_\_\_ 事件：セルビア人が奥皇位継承者フランツ=フェルディナント大公夫妻を暗殺。

⇒ 奥が<sup>2</sup> \_\_\_\_\_ に宣戦 ⇒ 露がセルビア支援のため軍を動員 ⇒ 独が露・仏に宣戦。

⇒ 独軍、<sup>3</sup> \_\_\_\_\_ の中立侵犯（シュリーフェン作戦） ⇒ <sup>4</sup> \_\_\_\_\_ が独に宣戦。

14. 8月 <sup>5</sup> \_\_\_\_\_ の戦い：独のヒンデンブルク将軍が露軍を撃退 ⇒ 東部戦線の形成。

9月 <sup>6</sup> \_\_\_\_\_ の戦い：独軍、パリ攻略に失敗、北仏で戦線膠着 ⇒ 西部戦線の形成。



### ②英の秘密外交。

15 \_\_\_\_\_ ロンドン密約：領土奪回を条件に<sup>9</sup> \_\_\_\_\_ が三国同盟を離脱、奥に宣戦。

15 <sup>10</sup> \_\_\_\_\_ 協定：戦後の独立を条件に<sup>11</sup> \_\_\_\_\_ 人がオスマンに反乱。

16 <sup>12</sup> \_\_\_\_\_ 協定：英・仏・露がオスマン領を分割（⇒ フ協定と矛盾）

17 <sup>13</sup> \_\_\_\_\_ 宣言：戦後のパレスティナに<sup>14</sup> \_\_\_\_\_ 人の建国を約束。

17 <sup>15</sup> \_\_\_\_\_ 自治の約束：150万人をトルコ戦線に動員（⇒ 戦後、約束は無視）

### ③総力戦：戦線の固定化、戦争の長期化、新兵器の開発競争（飛行機・潜水艦・戦車）

Total War ⇒ 国家の総生産力が勝敗を決定する。同盟国側は、次第に不利となる。

15 <sup>16</sup> \_\_\_\_\_ 号事件：独の潜水艦が英の客船を撃沈、米人乗客多数が犠牲に。

⇒ 対独世論が硬化するが、米(ウィルソン政権)は中立を維持する。

16 <sup>17</sup> \_\_\_\_\_ 要塞の攻防戦：仏軍のペタン将軍が死守。西部戦線最大の激戦。

16 <sup>18</sup> \_\_\_\_\_ の戦い：北仏で連合軍が攻勢。英軍がはじめて戦車を使用。

17- 英・仏側が不利。戦債貸倒れの危険。 ⇄ 17 ロシア革命 ⇒ ソヴィエト政権成立。

⇒ 最大の中立国<sup>21</sup> \_\_\_\_\_ が独に宣戦。 ⇒ 『平和に関する布告』で3原則発表。

(独の<sup>22</sup> \_\_\_\_\_ 作戦を口実) ( <sup>19</sup> \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_ )

18. 1月 米大統領<sup>23</sup> \_\_\_\_\_ が、 ⇒ 戦線離脱。連合国の秘密外交を暴露。

『<sup>24</sup> \_\_\_\_\_ の平和原則』を発表。 18. 3月 <sup>20</sup> \_\_\_\_\_ 条約

<sup>25</sup> \_\_\_\_\_ の禁止、<sup>26</sup> \_\_\_\_\_ の自由、 : ソヴィエトと独・奥との単独講和。

<sup>27</sup> \_\_\_\_\_ 障壁の撤廃、軍縮、民族自決、 (⇒ 独の敗戦で無効になる)

植民地問題の解決、国際平和機構の設立。 18. 9月 ブルガリア降伏 ⇒ 10月 オスマン降伏。

18. 8月 米軍が西部戦線到着 ⇒ 独軍退却。 ⇒ 奥・ハンガリー帝国崩壊 ⇒ 11月 奥降伏。

18. 11月 <sup>28</sup> \_\_\_\_\_ の水兵反乱：ドイツ革命。皇帝ヴィルヘルム2世は亡命。

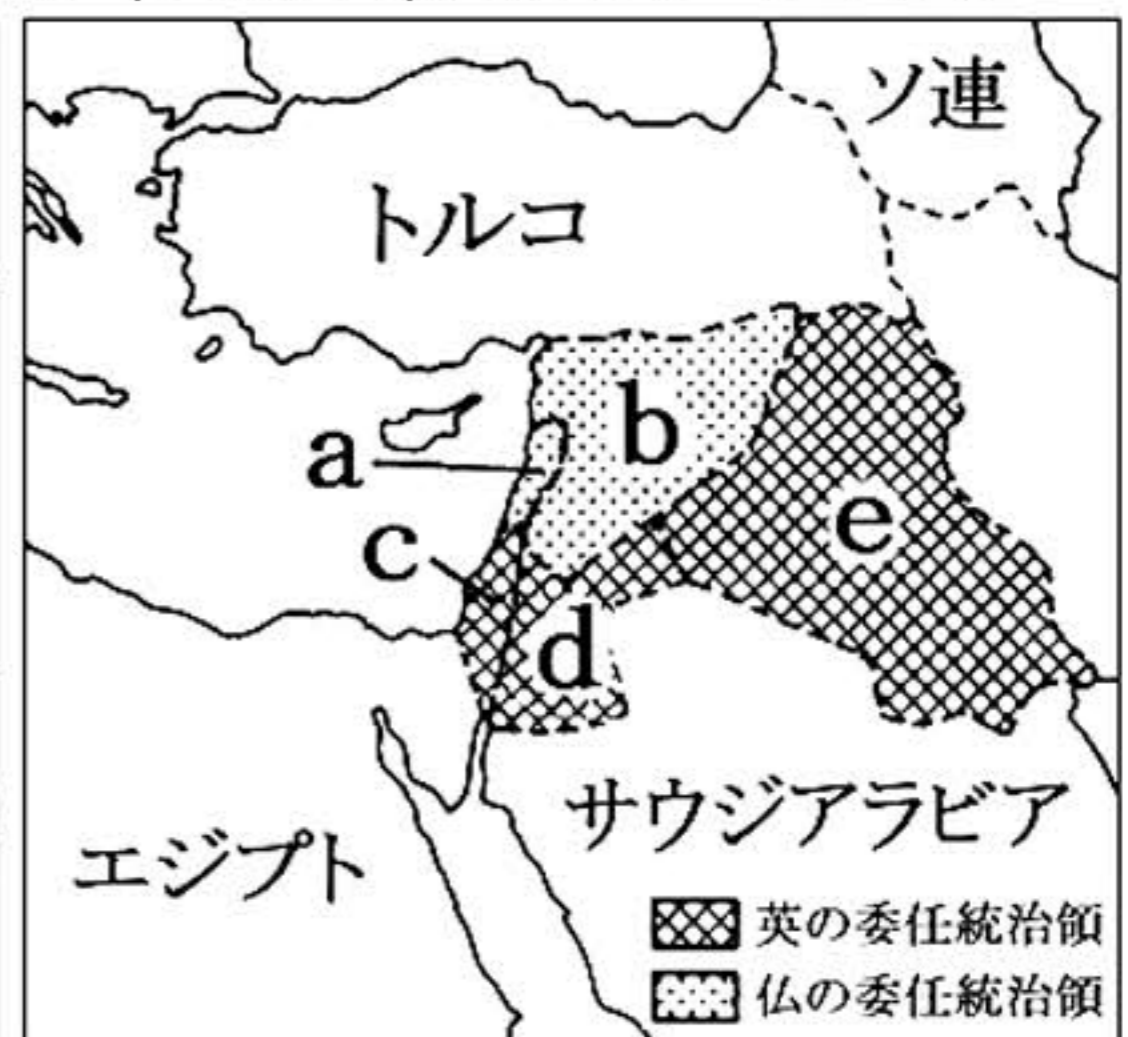
⇒ 社会民主党のシャイデマン、エーベルトが臨時政府を樹立 ⇒ 休戦条約に調印。

# 第一次大戦時の欧州



## オスマン帝国の分割

a レバノン b シリア c パレスティナ  
d (トランス)ヨルダン e イラク



① 第一次大戦開戦時(1914)

② サイクス=ピコ協定(1916)

③ ローザンヌ条約(1923)

A 仏の勢力圏 青 仏の統治  
B 英の勢力圏 赤 英の統治  
茶 国際管理

a \_\_\_\_\_ b \_\_\_\_\_  
c \_\_\_\_\_ d \_\_\_\_\_  
e \_\_\_\_\_

(史料1) 1 \_\_\_\_\_ 協定(1915)

イギリスは…メッカの太守によって要求されている範囲内で、すべての地域におけるアラブ人の独立を認め、それを支援する用意がある。…アラブ側は、イギリスだけに助言と指導を仰ぐ。

(史料2) 2 \_\_\_\_\_ 協定(1916)

- 英・仏はアラブ首長の宗主権の下に…アラブ国家あるいはアラブ連合国家を承認し保護する用意がある。A地域においては仏が、B地域においては英が、事業および投資の優先権を有す。
- 青色地域においては仏が、赤色地域においては英が、…直接的、間接的な統治および管理を行う。
- 茶色地域については、国際管理が行われる。

(史料3) 3 \_\_\_\_\_ 宣言(1917)

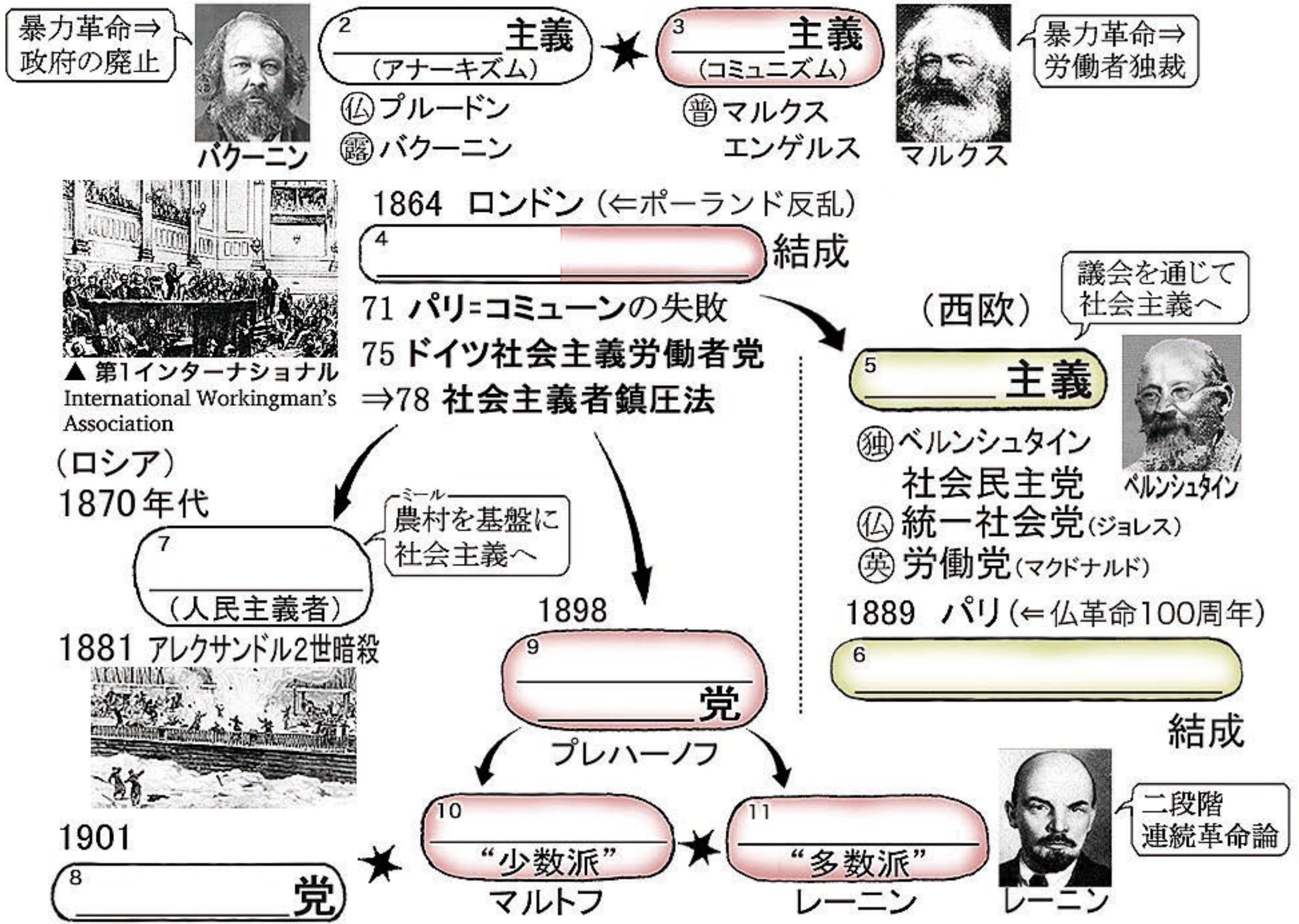
国王陛下の政府は、パレスチナにおけるユダヤ人の民族的故郷(National Home)の設立を、好ましく考えており、この目的の達成を円滑にするために、最善の努力を行うつもりです。貴下(注)が、この宣言をシオニスト連盟にお知らせいただければ光栄に存じます。

(注) 英国シオニスト連盟会長W. ロスチャイルド卿

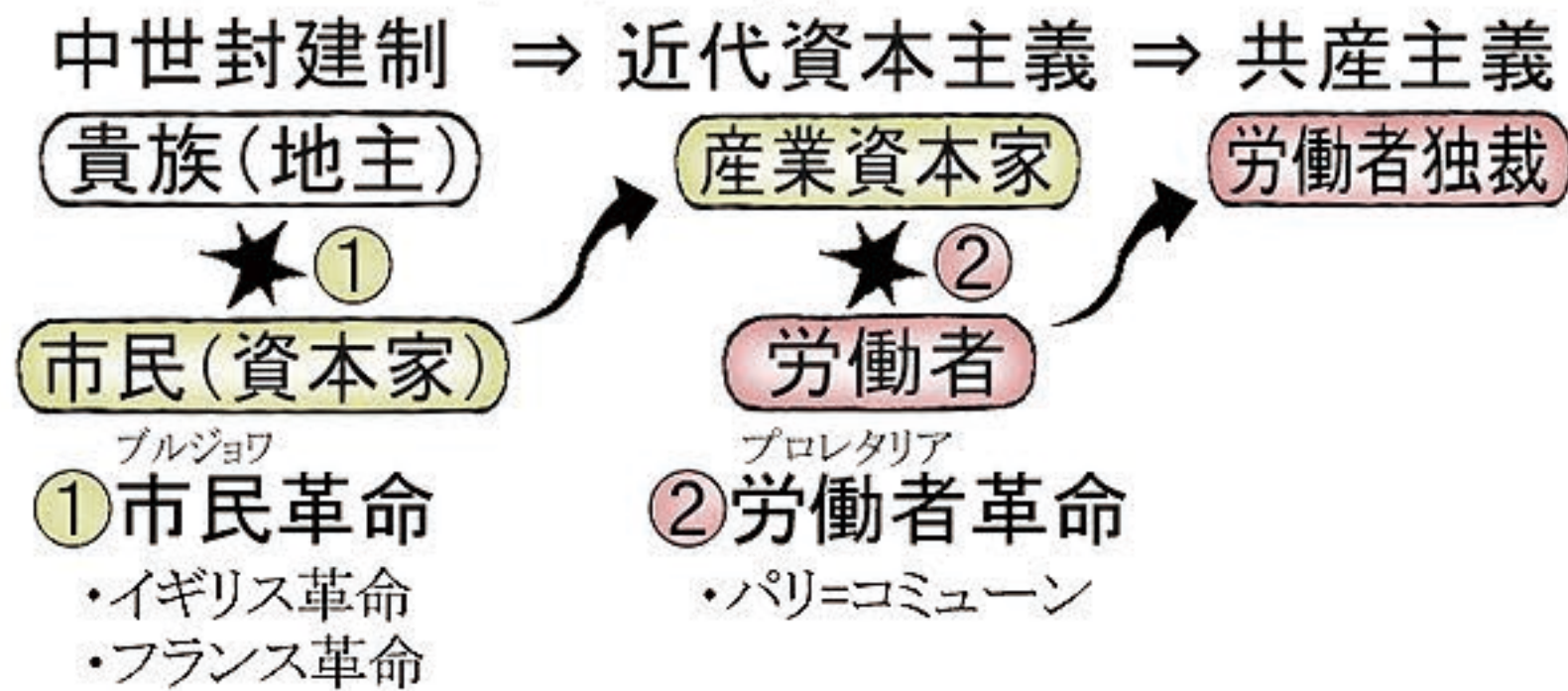
(解答) 1フサイン・マクマホン 2サイクス・ピコ 3バルフォア

# 社会主義思想の流れ

☆社会主義 = 1 の公有化により、貧富の差を解消する。



## マルクスの革命理論

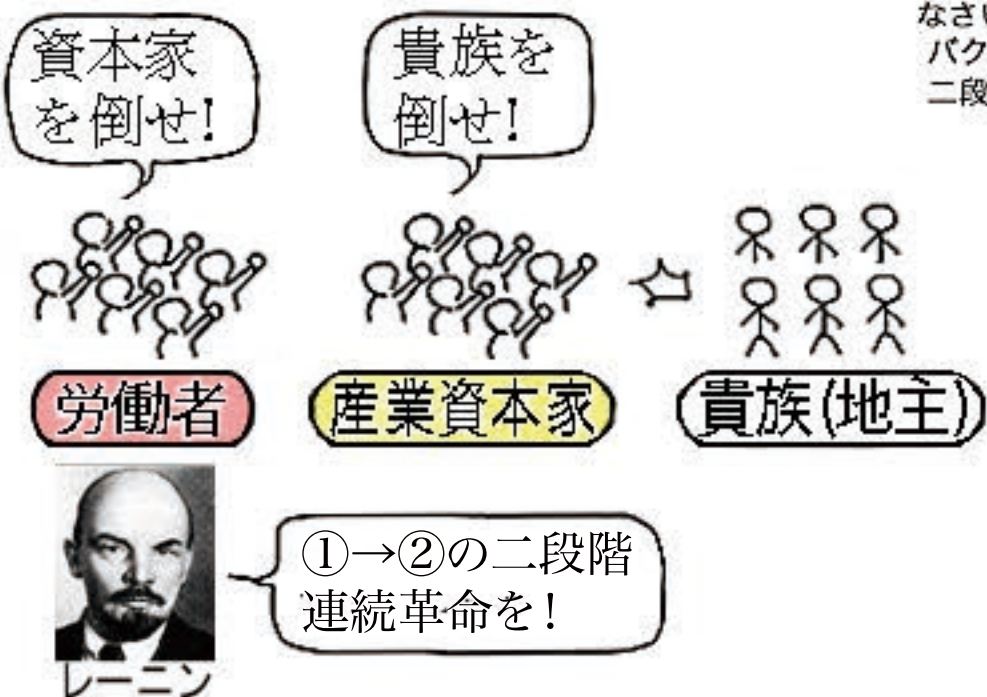


- (解答)
- 生産手段
  - 無政府
  - 共産 (マルクス)
  - 第1インターナショナル
  - 修正
  - 第2インターナショナル
  - ナロードニキ
  - 社会革命
  - ロシア社会民主労働
  - メンシェヴィキ
  - ボリシェヴィキ

### メンシェヴィキの考え



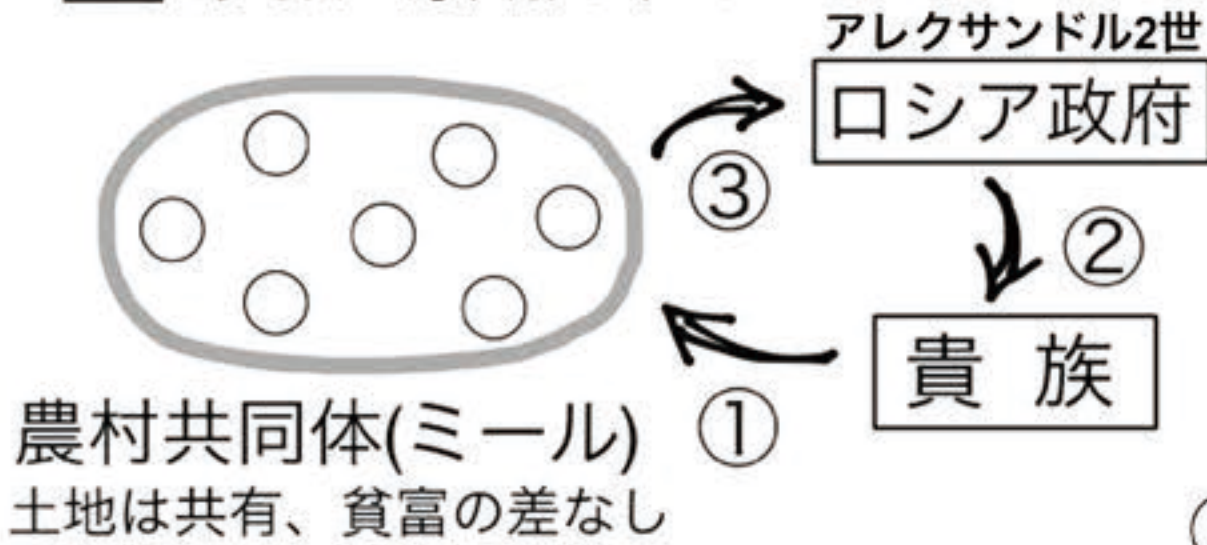
### ボリシェヴィキの考え



ロシアにおける社会主義運動の展開について、以下の語句を用いて120字以内で説明しなさい。  
バクーニン ミール  
二段階連続革命論

# ロシアの土地制度

## ① 農奴解放令(1861) ←クリミア戦争(1853-)の敗北



19世紀後半から帝政末期までのロシアの土地制度の変遷について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。  
アレクサンドル2世  
ストルイピン



▲レーピン「ヴォルガの船曳き」



▲アレクサンドル2世の農奴解放令(1861)

- ① 農奴に移動の自由。  
有償で貴族の土地を分配。
- ② 補償金
- ③ 土地代金(49年払い)  
⇒農村共同体(1)に土地所有権  
⇒土地は共有、貧富の差なし

## ② ストルイピン改革(1906-) ←第一革命(1905)



- ・社会革命党の基盤<sup>1</sup>を解体。
- ・土地所有権は<sup>2</sup>。土地売買も自由。  
⇒富農(クラーク)は政府に協力。  
⇒貧農は土地を手放し、工場労働者に。

貧富の格差、富農と貧農に階級分化

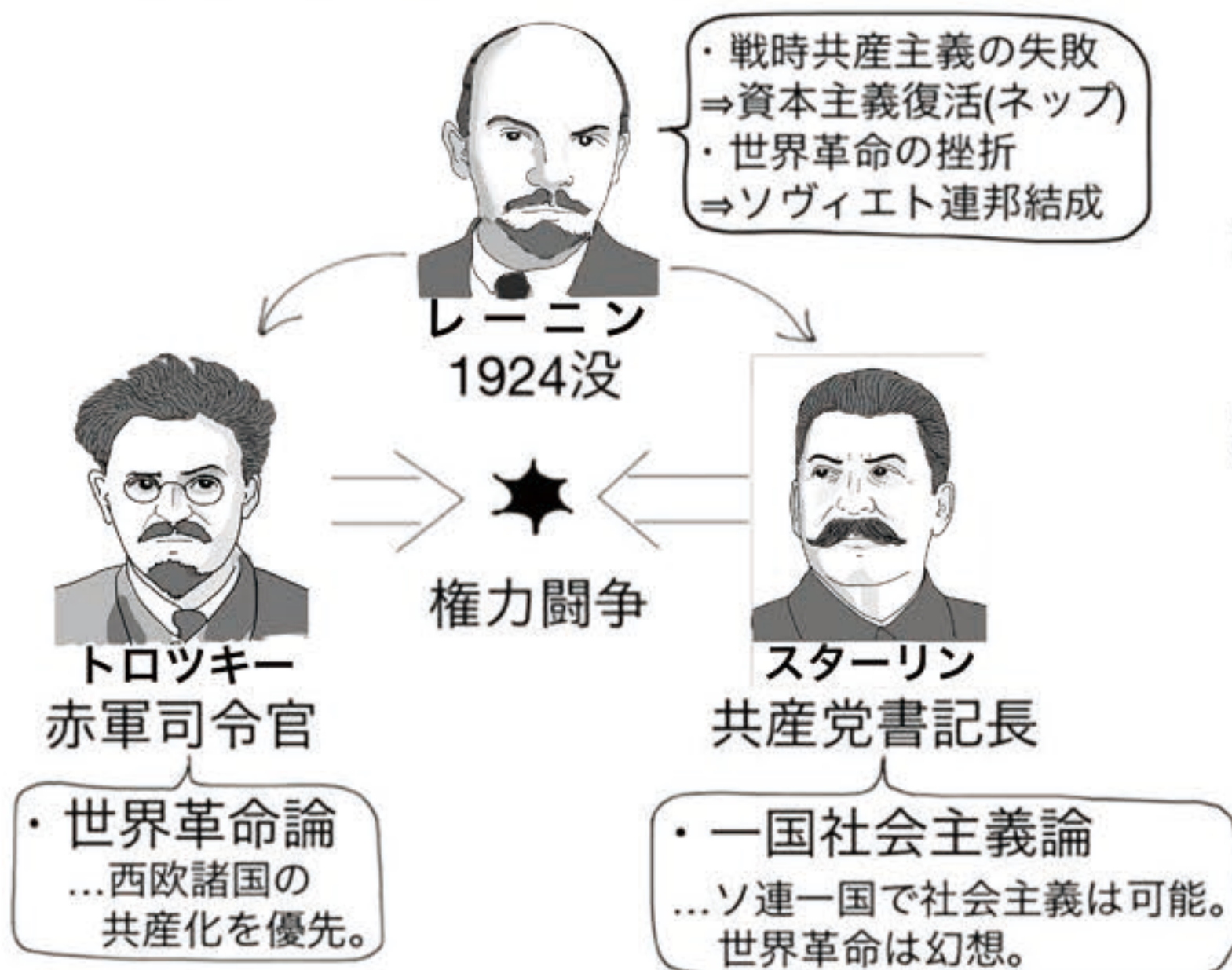
## ③ 共産党による改革(1917-) ←十月革命(1917)

- ・<sup>3</sup>で土地国有化。
- ・<sup>4</sup>(1918-)で食料徴発←対ソ干涉戦争  
⇒ウクライナなどで大飢饉 →クロンシュタットの反乱
- ・<sup>5</sup>/新経済政策(1921-)で市場経済を認める。
- ・五カ年計画(1928-)で再び統制経済に戻る。

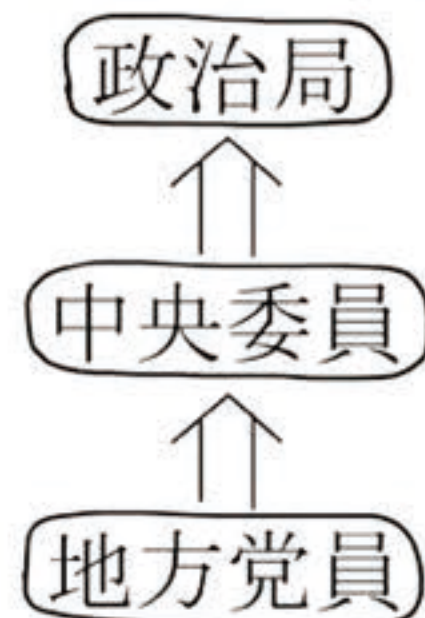
ソヴィエト政権下のロシアにおける経済政策の変遷について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。  
戦時共産主義 五ヶ年計画  
土地に関する布告 ネップ

- (解答) 1 ミール 2 個人  
3 土地に関する布告  
4 戦時共産主義 5 ネップ

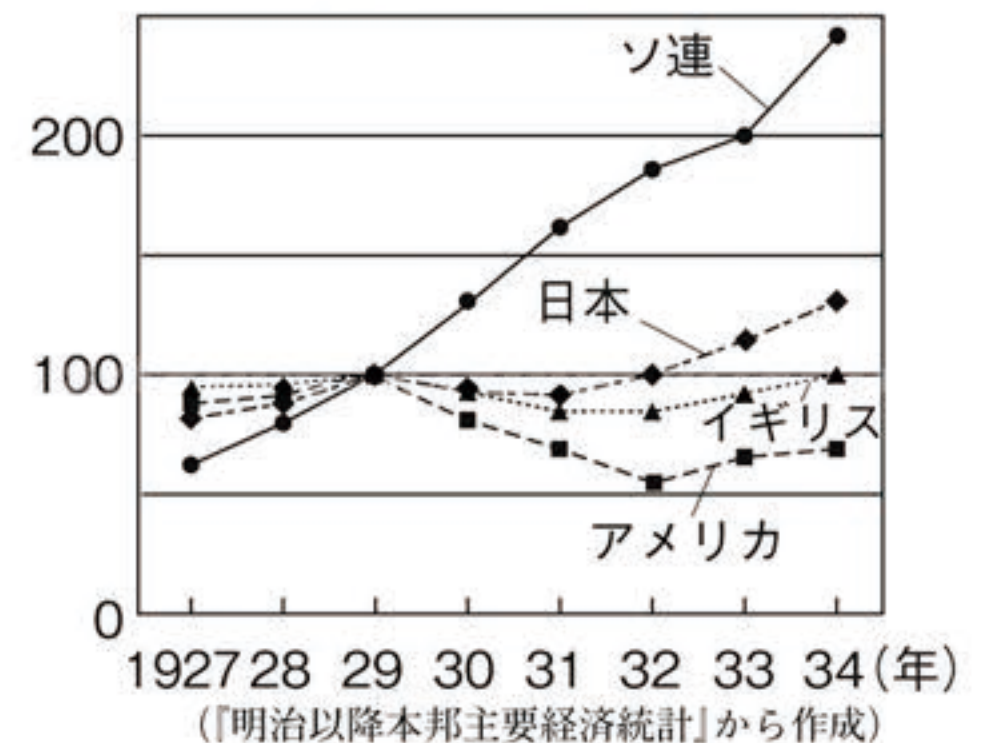
## ソ連共産党の内紛



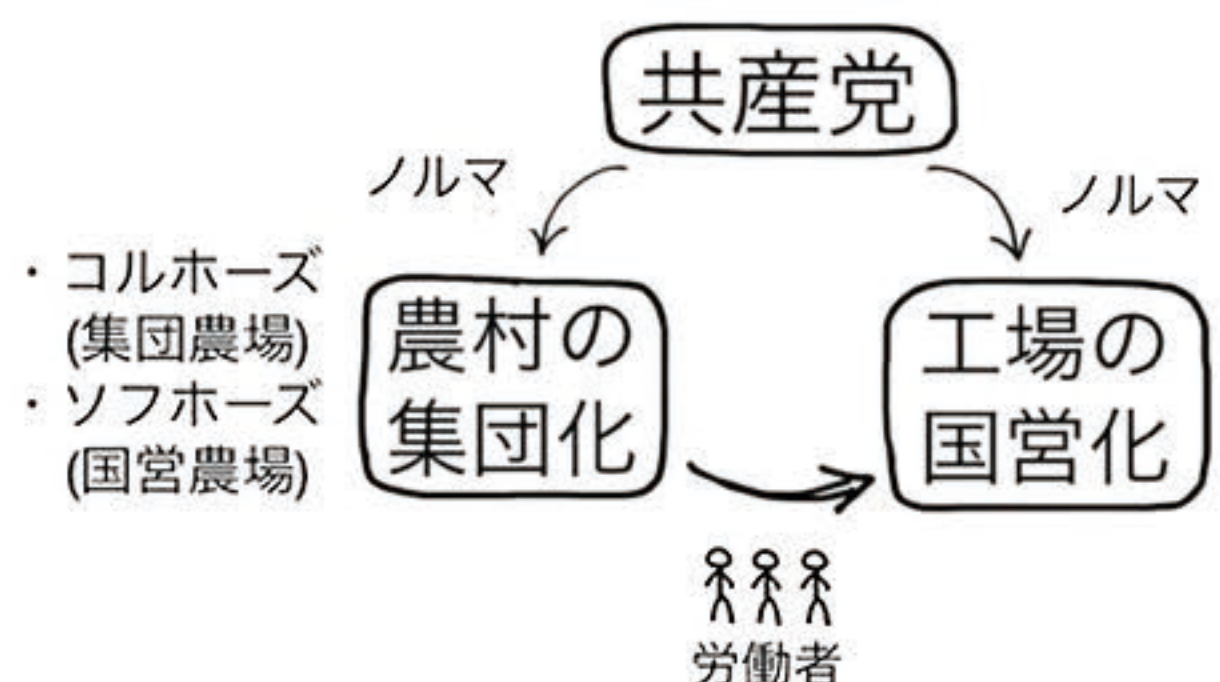
## ソ連共産党



## 世界恐慌期の鉱工業生産指数(1929年を100とする)



## 五カ年計画(1928-)



①革命前夜。

ロシア革命

•                     <sup>1</sup> : 農奴解放令(1861)。土地は有償で農村共同体=                    <sup>2</sup>へ。

☆                    <sup>3</sup> : 人民主義者。                    <sup>2</sup>を基盤にロシア独自の社会主義を目指す。  
1870年 <sup>ヴニナロード</sup> “人民の中へ”と唱え、農村で啓蒙活動を展開⇒農民の無関心、政府による弾圧で挫折。

1881                     <sup>1</sup> 暗殺 : ナロードニキ “人民の意思”派の爆弾テロ。

⇒ナロードニキは                    <sup>4</sup> 党 (通称エス = エル) を結成(1901)。

• アレクサンドル3世 : 1891 露仏同盟⇒仏からの借款で                    <sup>5</sup> 鉄道を建設。

•                     <sup>6</sup> : 最後の皇帝(94-) 対日三国干渉⇒旅順・大連・東清鉄道を租借。

98-                     <sup>7</sup> 党 : “ロシア=マルクス主義の父”<sup>8</sup>                      が組織。

⇒第1回党大会は警察に弾圧される⇒ロンドンの第2回党大会(03)で2派に分裂。

•                     <sup>9</sup> : 資本家と協力して市民革命を目指す穏健派。マルトフが中心。

( •                     <sup>10</sup> : 2段階連続革命と独裁を目指す急進派。<sup>11</sup>                      が指導。

②第一革命 : 日露戦争(04-) の敗戦と食糧危機で、戦争中止の声が高まる。

05. 1月                     <sup>12</sup> 事件 : 首都で神父ガポン率いる平和請願デモに軍隊が発砲。

⇒全土でストライキ、暴動。労働者は各地で評議会 (                    <sup>13</sup>) を結成。

05. 6月                     <sup>14</sup> 号の反乱 : 黒海艦隊の水兵が反乱⇒9月 ポーツマス条約。

05. 10月                     <sup>15</sup> 宣言 : 首相<sup>16</sup>                      が起草。皇帝が立憲君主政の導入を認める。

⇒国会 (                    <sup>17</sup>) 開設 : 資本家は<sup>18</sup>                      党 (カデット) を結成。

06- 首相<sup>19</sup>                      の反動政治 : 革命派への徹底的弾圧。

10                     <sup>2</sup> 解体 : 土地の私有化で自作農を創設⇒ストルイピン暗殺(11)。

③1917年の革命 : 第一次世界大戦(14-) の長期化で、再び食糧危機。

17 <sup>注2</sup> 露暦<sup>20</sup>                      革命 (三月革命) : 首都<sup>注1</sup>                     <sup>21</sup> の暴動⇒皇帝退位。

—17. 3月-                     <sup>20</sup> 臨時政府 : 国会で選出—  
• 首相リヴォフ (立憲民主党)  
• 首相<sup>22</sup>                      (社会革命党) ★  
⇒戦争続行を主張。英・仏の支持。

—17. 3月-                     <sup>13</sup> (評議会)—  
• レーニンが帰国。<sup>23</sup>                      発表。  
⇒帝国主義戦争反対、臨時政府不支持。  
⇒敗戦続きで厭戦気分<sup>えんせん</sup>高まる兵士が支持。

17 露暦<sup>24</sup>                      革命 (十一月革命) : ボリシェヴィキが武装蜂起、臨時政府を倒す。

⇒人民委員会議 = ソヴィエト政権が発足 : ボリシェヴィキと社会革命党左派。

• 土地に関する布告 : 土地国有化。 • 平和に関する布告 : 無併合・無賠償・民族自決。

⇒連合軍は黙殺⇒サイクス=ピコ協定を暴露⇒<sup>25</sup>                      条約(18)で単独講和。

18. 1月                     <sup>26</sup> 議会 : 最初の普通選挙で選出。<sup>4</sup>                      党が第1党に。

⇒ボリシェヴィキが武力で解散⇒ボリシェヴィキは<sup>27</sup>                      党と改称、独裁。

注1 大戦中、ペテルブルク(独名)をペトログラード(露名)に改称。

注2 ロシア暦(ユリウス暦)は、グレゴリウス暦より13日遅れていた。

# ロシア革命の流れ① 1905年の革命



- ① 露日戦争(1904-)
  - ② 血の日曜日事件(1905.1)
  - ③ ポーツマス条約(1905.9)
  - ④ 十月宣言(1905.10)
- 第一革命

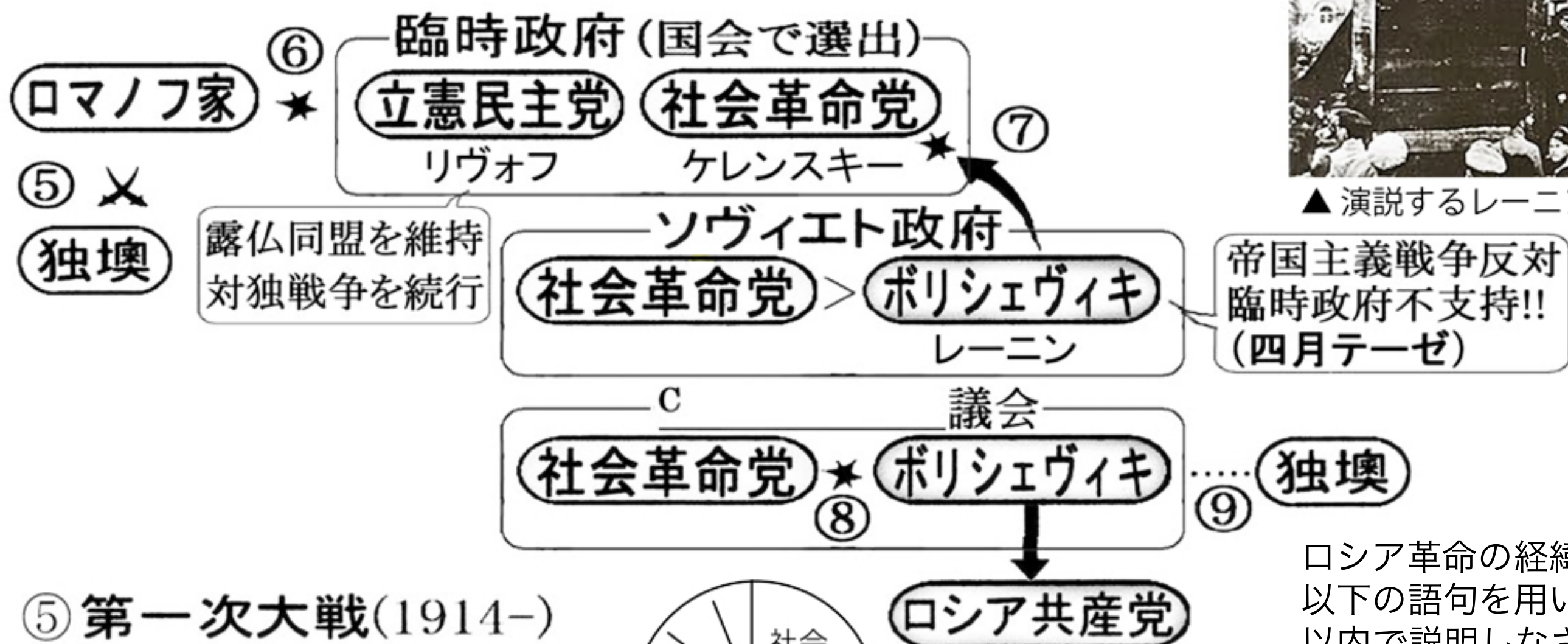


▲ 血の日曜日事件(1905)

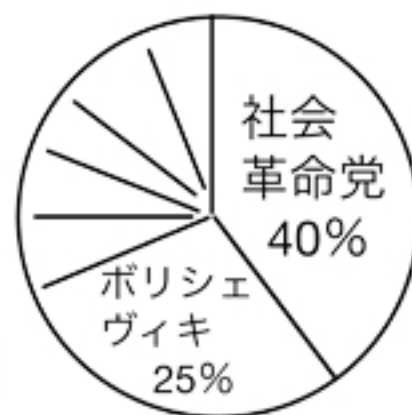
ニコライ2世の十月宣言(1905.10)  
 わが帝国の両首都および多くの地方における争乱と動揺は、大きく思い悲しみとなってわが心を満たしている。…政府に対して、以下のわが意志の履行を課すものである。

1. 人身の真の不可侵、良心・言論・集会・結社の自由の原則…を、住民に与えること。
2. 定められた国会選挙を中止せず、普通選挙の原則を認め、…選挙権を現在まったく失われている階級を、可能な限り国会に参加させること。

# ロシア革命の流れ② 1917年の革命



- ⑤ 第一次大戦(1914-)
- ⑥ 二月革命(1917.3)
- ⑦ 十月革命(1917.11)
- ⑧ 社会革命党を弾圧
- ⑨ ブレスト=リトフスク条約(1918.1)



- (解答)
- ① 日露 ② 血の日曜日 ③ ポーツマス
  - ④ 十月 A ドゥーマ B ソヴィエト
  - ⑥ 二月 ⑦ 十月 ⑨ ブレスト=リトフスク
  - C 憲法制定

ロシア革命の経緯について、以下の語句を用いて120字以内で説明しなさい。  
 十月宣言 四月テーゼ  
 ケレンスキー 社会革命党

## レーニンの四月テーゼ(1917)

1. リヴォフ一派の資本家的な政策のため、ロシアにとって現在の戦争は、依然として無条件に略奪的、帝国主義的戦争である。
2. 現在のロシアの情勢は、権力を資本家に渡してしまった革命の第一段階から、労働者と極貧

- 農民の手に権力を渡すべき第二段階への過渡期である。
3. 臨時政府を決して支持してはならない。臨時政府のすべての約束が、…まったく嘘であることを説明せよ。



## ソヴィエト連邦の成立

・ **レーニン** : 人民委員会議長 = 首相(17-24) 共産党独裁を確立。モスクワ遷都(19)。

1918-22 <sup>1</sup> 戦争 : 連合国 ( <sup>2</sup> . . . ) が革命に干渉。

⇨ <sup>3</sup> 軍救出 を名目に出兵、反革命軍 (白衛軍) を支援。

☆ <sup>4</sup> 革命軍。トロツキーが組織。

☆ <sup>5</sup> 秘密警察 (⇨ GPU ⇨ KGB)。

19- <sup>6</sup> (第三インターナショナル)

: 各国共産党の指導機関。世界革命の本部。

⇨ **ドイツ革命**(スパルタクス団)、**ハンガリー革命**。

18- <sup>8</sup> 内戦勝利のため “すべてを戦線へ”  
・ 全企業の国有化、労働義務制。  
・ 食糧の強制徴発⇨生産意欲の喪失。  
⇨ ウクライナで大飢饉、死者数百万人。

20-21 ソヴィエト = <sup>7</sup> 戦争

: 赤軍がはじめて敗退。世界革命は挫折。

⇨ 白ロシア西部・ウクライナ西部を奪われる。

21 <sup>9</sup> の反乱  
: 赤軍の水兵が共産党独裁に反抗。

22 ソヴィエト社会主義共和国連邦成立。

: ロシア・<sup>11</sup> .

. の4か国の連邦国家。

21- <sup>10</sup> (新経済政策)  
“資本主義への譲歩” で生産を回復。  
・ 市場経済の復活、私企業の容認。  
⇨ 経済再建に成功。富農クラークの出現。

☆ソ連の国際的承認 : 22 <sup>12</sup> 条約で、敗戦国<sup>13</sup> が最初に承認。

⇨ 英(マクドナルド労働党内閣)、伊、仏(24) ⇨ 日本(25) ⇨ 米(F.ローズヴェルト民主党政権)(33)

24 **レーニンの死** : 共産党内で権力闘争がはじまる。

・ <sup>14</sup> 赤軍司令官。西欧革命の支援を優先する<sup>15</sup> 論。

・ <sup>16</sup> 党書記長。ソ連一国で社会主義建設をする<sup>17</sup> 論。

25 <sup>14</sup> 失脚 : 党を除名⇨国外追放(29) ⇨メキシコで暗殺(40)。

☆<sup>18</sup> 計画 : 一国社会主義のための**計画経済**。共産党が生産量を決定。

28- **第1次** : 農業国から工業国への大転換。

⇨ 農業の集団化 (コルホーズ・ソフホーズ) ← 影響なし

29- <sup>19</sup> .

33- **第2次** : 重工業に加えて、軽工業も重視。

⇨ 工業生産高では、米に次ぐ世界第2位に。

31 **満州事変** : 日本軍が侵攻。

33 **独、ヒトラー政権**。

34- <sup>20</sup> スターリンによる反対派の弾圧 ←

⇨ 秘密警察が数百万人を逮捕、シベリア流刑、処刑。

33 **日・独が国際連盟を脱退**。

34 **国際連盟がソ連の加盟承認**。

36 <sup>16</sup> 憲法制定 : 最高会議を設置。

⇨ 18歳以上の男女に参政権。一党独裁は変わらず。

35 **コミンテルン、人民戦線を提唱**。

⇨ 36- **スペイン内乱**。

38- **第3次** : ウラル・シベリア地域の開発。

⇨ 大戦に備え、軍需産業も。独ソ戦争で中断 ←

36 **日独防共協定** : 反ソ協定。

41- **独ソ戦争** : 独軍、モスクワ侵攻。

- ロシア革命**
- アレクサンドル2世
  - ミール
  - ナロードニキ
  - 社会革命
  - シベリア
  - ニコライ2世
  - ロシア社会民主労働
  - プレハーノフ
  - メンシェヴィキ
  - ボリシェヴィキ
  - レーニン
  - 血の日曜日
  - ソヴィエト

- ポチョムキン
- 十月
- ヴィツテ
- ドゥーマ
- 立憲民主
- ストルイピン
- 二月
- ペトログラード
- ケレンスキー
- 四月テーゼ
- 十月
- プレスト=リトフスク
- 憲法制定
- ロシア共産党

- ソヴィエト連邦成立**
- 対ソ干渉
  - 英・仏・日・米
  - チェコスロヴァキア
  - 赤軍
  - チェカ
  - コミンテルン
  - ポーランド
  - 戦時共産主義
  - クロンシュタット
  - ネップ
  - ベラルーシ
  - ・ウクライナ
  - ・ザカフカース

- ラパロ
- ドイツ
- トロツキー
- 世界革命
- スターリン
- 一国社会主義
- 五カ年
- 世界恐慌
- 肅清

### 対ソ干渉戦争① 1918-



### 対ソ干渉戦争② 1922



- 旧ロシア帝国
- ソヴィエト政権
- 連合国軍、反革命軍

- ロシア帝国からの独立国  
(ポーランドはベラルーシ西部を併合)
- ソヴィエト軍(赤軍)

ニコライ2世と皇太子アレクセイ



赤軍兵士を閲兵するトロツキー



抹殺されたトロツキー



ウクライナ大飢饉(1921-22)



ソ連のポスター(1930年代)

